

医 学 英 語 2

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授（外国語）

科目担当者

小川恭佑 助教（外国語）

2 教育目標

（１）ねらい（Ⅲ-2-c, Ⅲ-4-b, Ⅲ-10-c）

- ① 前半は主にコンピテンス“「医学知識と科学的探究心」（医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBMを実践できる）”を培うために，1年生及び2年生の医学英語では生体の正常な構造や機能について英語で学習する。本講義では引き続き，語彙力や文章理解力，リスニング力を向上させる。とくに構文などの理解力を重点的に深める。後半は主にコンピテンスの“疾患の概略について説明でき，鑑別を要する疾患を列挙し，病態や診断基準等と照らし合わせて考察できる”ことを英語でも実践できるよう語学力を獲得する。
- ② 生涯にわたって自律的に学び続け，また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に着けることと，患者の社会的背景（経済的・制度的側面等）が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

（２）学修目標

- ① 人体の構造と機能，common diseasesとその症状に関する語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
- ② 医学用語の名詞に頻出する不規則複数形を理解し，未知語に対して応用できる。
- ③ 医学用語に頻出する接頭辞・接尾辞・連結形を理解し，未知語に対して応用できる。
- ④ 人体の構造と機能，common diseasesとその症状に関する英文や動画の内容の意味をくみ取ることができる。
- ⑤ 分詞構文を含む英文の構造を正しく理解することができる。
- ⑥ 関係代名詞，分詞，動名詞，不定詞，並列などが使用された英文の構造を正しく理解することができる。
- ⑦ 身体の構造や機能，疾患・症状に関する基礎的な語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
- ⑧ 医療面接で使用されるより実践的な英会話が理解できる。
- ⑨ ケーススタディや研究論文で登場する疾患・症候について自ら調べることができる。
- ⑩ 調べものをするとき使用すべき信頼性の高いソースを見分けることができる。
- ⑪ 医療小説を通じて，医療問題を多角的に考察できる視野を獲得する。
- ⑫ 異なる文化的背景に根差した医療観や倫理観が説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
中間テスト	○	30%	出題範囲は前学期授業内容から(記述式を原則とする)
定期試験	○	20%	出題範囲は後学期授業内容から(記述式を原則とする)
前学期 演習点	○	15%	主に前学期に実施される各回の終了時に実施される復習小テスト演習の合計* *採点方法：演習は原則「参加をしている・トライをしている」ことに点数を付けます。正答率は採点基準ではありませんが、中間テスト・定期試験の準備も兼ねているので丁寧に取り組みましょう。
後学期 演習点	○	20%	5% 「英米医療小説講読」回のフィードバック及びレポート 15% ケーススタディ演習(PBL) いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。
演習(語彙 小テスト)	○	15%	e-ラーニングアプリ(ALC NetAcademy Next)から語彙小テスト3回(各5%, 自己採点式)
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験と、追加課題を課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

小テストや演習課題については、適宜振り返りと解説を授業内で行う。定期試験については、AIDLE-Kを通じて総括を行う。その中で、再確認が必要な項目を指摘する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
The Concise Human Body Book	Steve Parker	Dorling Kindersley Limited	一般読者及びコ・メディカルを対象として、人体の構造と機能について書かれた洋書。難しすぎない内容が簡潔な文章で書かれており、英語で医学の内容を読むことの導入にふさわしい。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
英文法どっちがどっち 単語の品詞がわかる本	伊藤和夫	復刊ドットコム	英文理解のための基礎となる文法で学習者が迷いやすいものを対比させながら解説。分かりやすく必要なところだけを読むことができる。文法が苦手な人に推奨。
Medical Terminology for Healthcare Professions https://pressbooks.uwf.edu/medical-terminology/	Andrea M. Nelson et al.	University of West Florida Pressbooks	接頭辞・接尾辞・連結形などが丁寧に解説されている。また、いわゆる「単語帳」にとどまることなく、解剖学・生理学の文脈の中で医学専門用語を理解することができる。
Anatomy and Physiology 2e - 2e https://open.umn.edu/opentextbooks/textbooks/169			教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと、医学専門用のみならず、医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
Anatomy: An Essential Textbook (Thieme Illustrated Reviews) 第3版	Anne M. Gilroy et al.	Thieme Medical Pub	教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと、医学専門用のみならず、医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野隆 (監訳)	医学書院	医学専門用語(解剖の用語)の基本的な知識を日本語で理解する上で有用。
Dr.押味のあなたの医学英語なんとかします！	押味貴之	メジカルビュー社	プレゼンテーションと病歴聴取のコツが具体的に書かれており、授業で扱っている内容を効果的に復習することができる。
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載された open textbook である。

6 準備学習（予習・復習）

【それぞれの演習の予習と復習の方法】

予習・マインドセットとして授業開始前に、学習範囲を確認するクセをつけましょう。

復習を1コマあたり最低でも各 0.5 時間勉強することを推奨します。

小テストの準備のために、e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next）での学習を日々進めてください（1日あたり10分）。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方、英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので、毎回コツコツと身に付けましょう。その意味では授業はペーサーメーカーの役割でしかなく、小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また、上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく、自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には、ノートパソコンかタブレットを持参すること。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。

小テスト演習は中間テスト及び定期試験の準備も含まれていますのでわからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

- ① 教務課だけではなく、科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
- ② AIDLE-K 上の資料や、友人に確認するなどして、学習が途切れないよう心掛けてください。
- ③ 欠席した日の小テスト演習は別途受験することができますので希望する場合は申告してください（点数は事由により多少の減点をする場合があります。）

7 授業計画

（１） 講義の方法

大教室での知識伝達型講義と、問題解決型の演習の併用。

（２） 講義の内容

前学期は医学英語1bに引き続き、医学専門用語、とくに身体の器官の英語での名称を学習する。語の暗記だけではなく、英文で書かれた機能に関する記述や動画の説明などの理解も通して、語学の基礎的な4技能のうち読む・書く（スペリング）・聴く・話す（発話）の強化を行う。また e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next）に準拠した小テスト演習を行う。これは演習であるため参加点を原則とする。

Case Study 演習では、英語で行われる医療面接をシーンごとに区切り英語表現を学習したうえで、関連領域の専門家による解説講義が行われる。PBL 方式の学習を採用する。なお専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため、学生は能動的に参加することが求められる。

英米医療小説講読では、小説を通して医療について学ぶ。